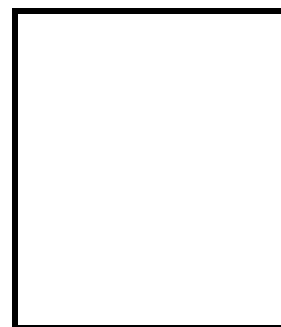


令和元年度（2019年度） 東光・栗林合同防災訓練



班

昨年度 実施状況より

日時 令和元年6月24日(月) 13:30～17:00
場所 帯広市西23条北1丁目1番16号
東光舗道株式会社 各施設



防火活動実施通知書

令和元年 5月/6 日

帯広市消防署長 様

通知者 (防火・防災管理者・町内会等の代表者)

住 所 帯広市西23条北1丁目1番16号
東光舗道株式会社

氏 名 代表取締役社長 河西 智子

下記のとおり防火活動(消防訓練)を実施するので通知します。

実施日時	令和元年6月24日(月) 13時30分から17時00分まで		
実施場所	帯広市西23条北1丁目1番16号		
防火対象物の名称等 (団体の名称等)	東光舗道株式会社		
参加人員	従業者 40名	その他 40名	計 80名
協力業者等	栗林建設株式会社との共催。東光・栗林安全衛生協力会各社の参加あり		
連絡責任者 (訓練指導者)	氏名 駒ヶ嶺 孝宏	消防職員による指導の要否	要・否
	電話 0155-37-3181	※ 119番通報訓練は、通信課 (26-9126)へ連絡すること	
訓練種別	<input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 避難誘導訓練(火災・火災以外)		
	<input type="checkbox"/> 総合訓練 <input checked="" type="checkbox"/> その他(防火講話・防火映画・消防車両展示・)		
訓練想定	<input checked="" type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 地震 <input checked="" type="checkbox"/> その他の災害()		
訓練概要(具体的な内容)			
身近で起こった事故や災害に対する知識と実践 ・水消火器			
救急救命講習			
・応急搬送 ・身の回りにある物を使った応急手当、外傷処置			
・AEDと心肺蘇生 ・熱中症とその対処法 ・煙幕訓練 煙体験ハウス			
※ 受付欄	※ 処 理 欄		
	※ 管理番号 <input type="checkbox"/> データ入力 <input type="checkbox"/> 届出申請入力		

備考 1 ※印の欄は記入しないこと。

2 この通知書は、訓練実施前までに提出すること。

なお、消防職員の指導が必要な場合は1ヶ月前までに最寄の消防署所へ連絡し提出すること。

3 訓練の事前計画などを別に作成した場合は、添付しておくこと。

様式第5号（第7条関係）

一般救急講習実施申請書

		令和元年 5月 16日	
帯広市消防署長		様	
		申請者 住所 帯広市西23条北1丁目1番16号 東光舗道株式会社 氏名 代表取締役社長 河西 智子 電話 0155-37-3181	
開催日時	令和元年6月24日(月曜日) 13時30分～15時30分まで（2時間00分）		
開催場所	東光舗道株式会社 社員食堂及び会社敷地内		
対象者名	東光舗道、栗林建設社員及びグループ協力会社社員		受講者数 80人
担当者名	安全推進室長 駒ヶ嶺 孝宏		電話 0155-37-3181
実施内容	①	救急法の基礎知識	④ その他の応急手当
	②	心肺蘇生法の知識と技術	5 救急・救命法等ビデオ放映
	③	AEDの知識	⑥ その他（ 質疑応答 ）
※ 受付欄	※ 摘 要		
			

備考

- 1 対象者名欄には、会社名、団体名のほか受講対象者内容について記載してください。
- 2 実施内容欄の希望する項目番号に○を付けてください。
- 3 「救急法の基礎知識」とは、日常生活における一般的な応急手当等の基本的な知識をいう。
- 4 「心肺蘇生法の知識と技術」とは、救命手当での心マッサージ法、人工呼吸法等の基礎的な知識と技術をいう。
- 5 「AEDの知識」とは、AED（自動体外式除細動器）の基礎的な知識をいう。
- 6 「その他の応急手当」とは、一般的な応急手当法の技術（実技）をいう。
- 7 「救急・救命法等ビデオ上映」とは、救急・救命法のビデオ等での解説をいう。
- 8 「その他（ ）」とは、1～5以外のもの又は質疑応答をいう。
- 9 ※印欄は、記入しないでください。

防災訓練内容

令和元年6月24日(月)

《東光舗道 食堂で受付》

- 13:30 1. 防災訓練の開始(総合司会:駒ヶ嶺)
- ・開催の挨拶 (東光舗道株式会社 代表取締役社長 河西 智子)
 - ・指導講師の紹介

とちぎ広域消防局 帯広消防署 救急課 課長補佐
消防司令 佐々木 寿文 氏

とちぎ広域消防局 帯広消防署 指導課 防火活動担当
課長補佐 鎌田 樹典 氏

とちぎ広域消防局 帯広消防署 救急課普及係及び西出張所の皆様

※以下の項目を東光、栗林の全体を2グループに分けて並行して実施。

2. 救急講習
- ①心肺蘇生とAED ※訓練人形を40体程度準備。
説明の後、参加者全員が胸骨圧迫(心臓マッサージ)等を行う
 - ②熱中症の予防と対応
3. 防火訓練
- ①水消火器を使った消火訓練、消火器の取り扱い手順について
説明の後、参加者全員が実施
 - ②煙幕体験:テント内に煙(人体には無害)を発生・充満させ、実際の火事の場合の
視界不良等を疑似体験してみる。
 - ③搬送法各種(体位の変換、保温・加温、搬送他)

15:30 謝 辞 (栗林建設株式会社 代表取締役社長 河西 健一)

15:35 《 休 憩 》 5分

15:40 土のう製作・運搬・設置訓練 東光生コンサービス(株)横 60分
《東光舗道敷地》

指揮・指導 栗林建設(株) 土木部長 高山 正博
課長補佐 飯山 剛司

〔 集中豪雨による河川氾濫を想定する。2グループに分かれ、所定の工法で土のうを設置する。 〕

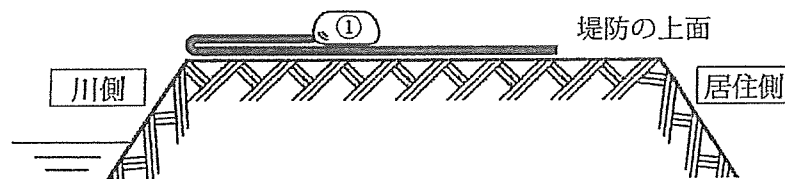
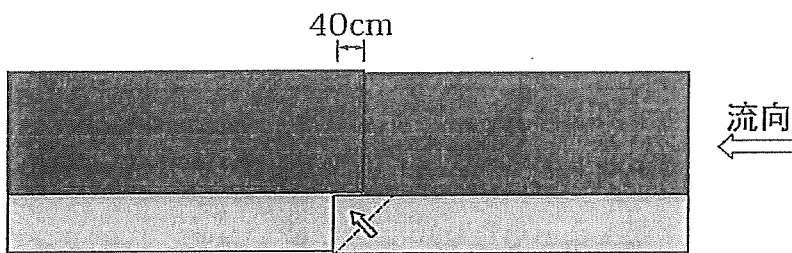
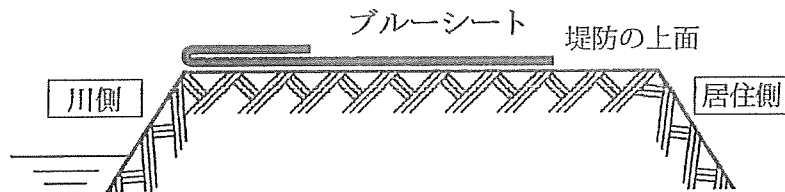
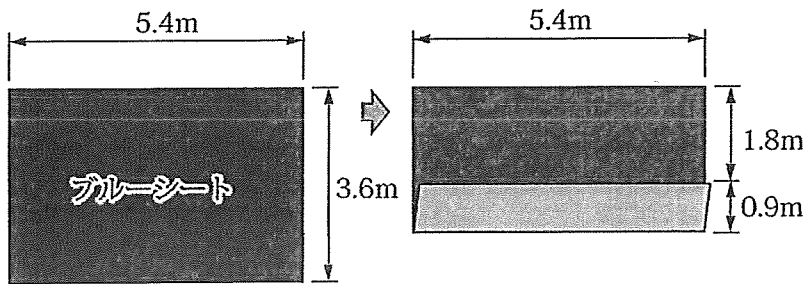
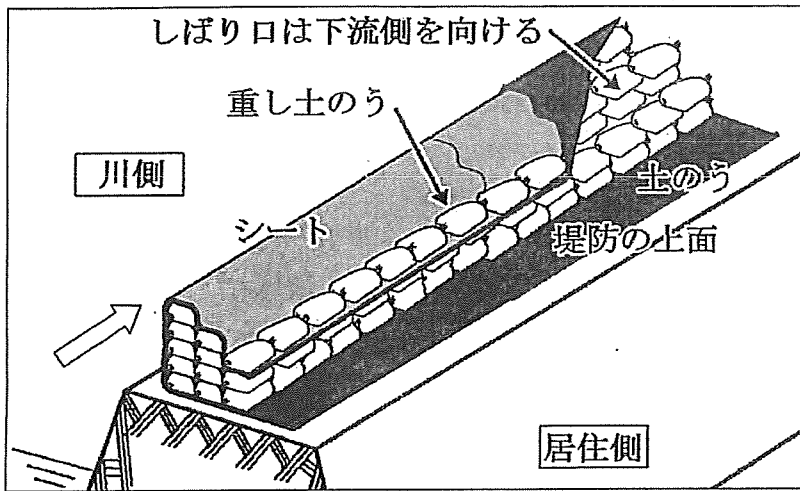
16:40 後片付け 17:00終了予定

その後、反省会の開催

※天候その他により、内容に変更が生じる場合があります。

お持ちであれば、ヘルメット、手袋、安全ベスト、安全靴等を装着下さい

積土のう工（杭省略型）（ブルーシート使用） ※控え土のう2列



■目的

従来の積土のう工から鋼杭を省略しています。

舗装された堤防上面など、杭が打ち込めない場所でも有効です。

■作業手順

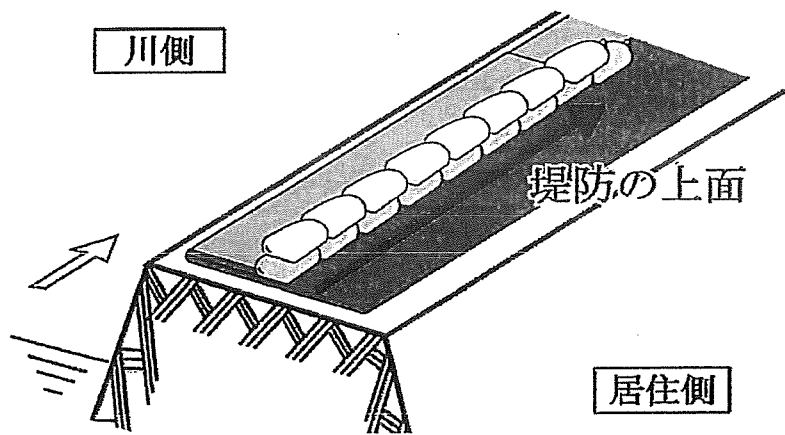
①ブルーシートを2枚準備します。

左図のように半分の位置まで折り返します。

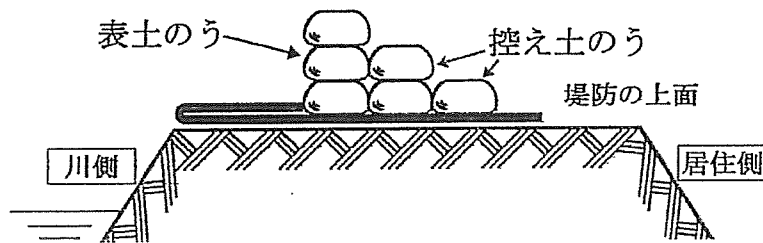
②ブルーシートを上流側から敷設します。ブルーシートの折り返しを堤防上面の肩に合わせるように敷きます。

③2枚目のブルーシートを重ねます。下流側のブルーシートを折り目の中に押しこむように重ねます。

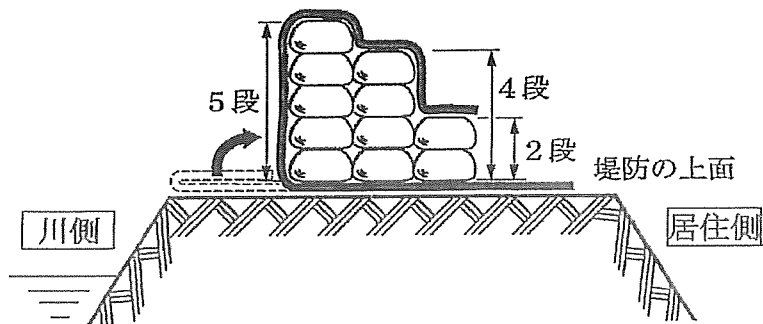
④ブルーシートの端に合わせるように、表土のうを並べていきます。



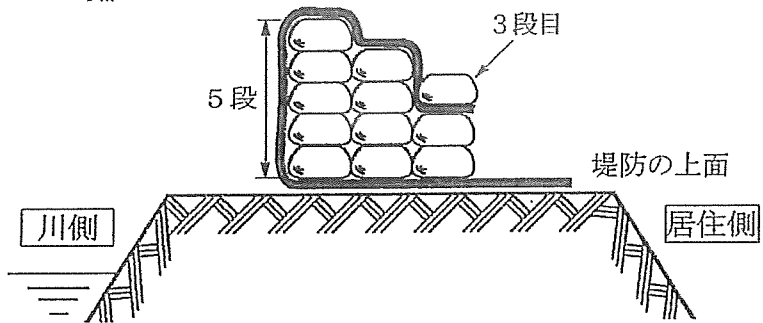
⑤表土のうは、上流側から土のうの結び目が下流側に向くようにして長手積みで並べます。



⑥控え土のうを2列、表土のうと同様に長手積みで積んでいきます。



⑦表土のう5段、控え土のう2列、4段と2段に積んでからブルーシートを土のう全体を覆うように広げます



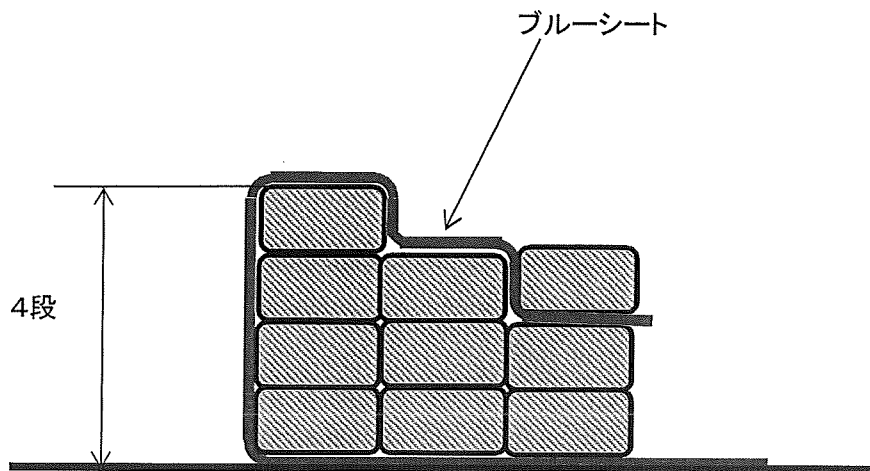
⑧覆ったブルーシートの上から控え土のう(3段目)を積んで完成となります。

●積土のう工（杭省略型）数量表（1組10m当たり）

人員	資 材				器 具		
	名 称	形状寸法	単位	員数	名 称	単位	員数
20人	土のう		袋	350	かけや	丁	2
	ブルーシート	3.6m×5.4m	枚	2	一輪車	台	3

参考資料：国土交通省中国地方整備局「時代に即した水防工法 工法選定と作製の手引き」

h30防災訓練 土のう製作・設置訓練



1班当たり
土のう設置延長 $L=5\text{m}$

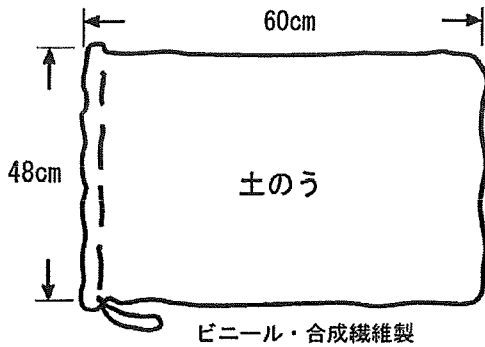
土のう設置個数
断面当たり 10個
設置方向 $5\text{m} \div 0.4 = 13\text{個}$

$10\text{個} \times 13\text{個} = 130\text{個}$

2班合計

土のう 260袋 (購入枚数は300枚 1単位50枚)
ブルーシート 2枚 (5.4×1.8)
砂
スコップ(剣先) 15丁 (東光舗道8丁、栗林建設7丁)
一輪車 4台 (各班2台)

土のう作り



重さはおよそ25kg~30kg



■用途

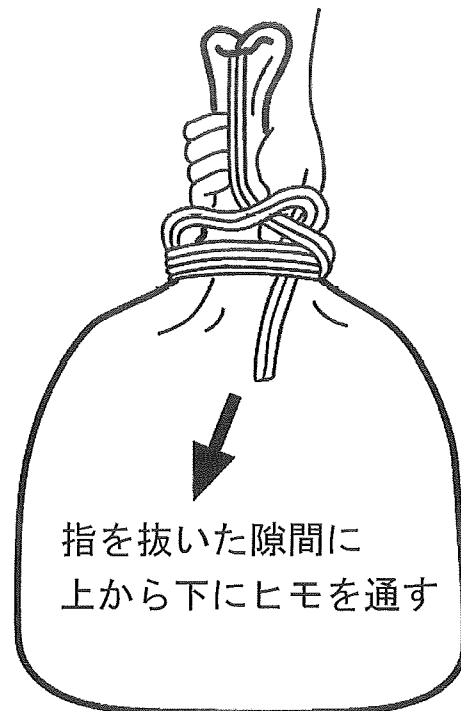
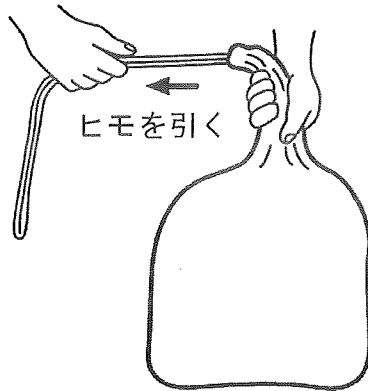
水防工法の基本ともなる土のう（ビニール・合成繊維等）を作る作業です。土のうは48cm×60cmのものを使用します。

■手順

①スコップで4~5杯の土を入れると袋の約7~8割になります。その重さは、およそ25~30kgです。

②袋のはしに出ているヒモを引いて、袋の口をしぼります。

しぼりおえたら親指を添え、その指の上をヒモを2回まわします。指を抜き、ヒモを上から下へ通し、引いて締めます。



※土のう袋は裏返して縫い目を内側にして砂を詰める。
裏返すことで袋の強度が増す。
流れてきた枯れ葉やゴミが引っかからないようにする。